

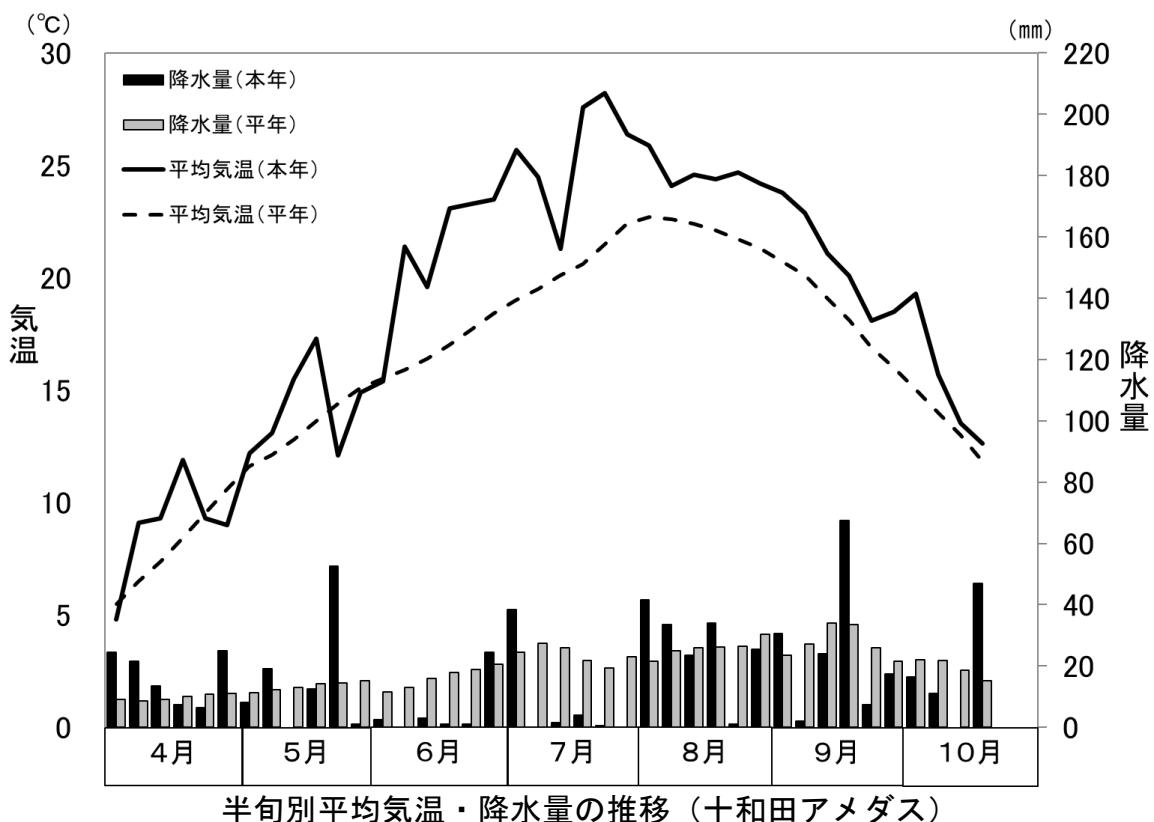
上北農業生産情報 第7号

令和7年10月28日

青森県上北農林水産事務所

○ 農作業の安全につとめましょう！！

気象



《9月》

- ・平均気温は、期間を通して平年を上回った。
- ・日照時間は、上旬は平年並みで、中・下旬は平年を大幅に上回った。
- ・降水量は、上旬は平年を大幅に下回り、中旬は平年を大幅に上回り、下旬は平年を大幅に下回った。

【9月の気象（十和田アメダス）】

項目	平均気温°C		最高気温°C		最低気温°C		日照時間h		降水量 mm	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
上旬	23.3	20.6	28.0	25.5	18.8	16.5	43.8	44.9	32.5	41.1
中旬	20.6	18.7	26.1	23.7	15.2	14.2	57.9	46.6	91.5	77.6
下旬	18.3	16.3	24.2	21.8	12.4	11.1	76.8	49.2	25.0	41.2

注) 気温は10日間の平均、日照時間と降水量は10日間の合計

《10月上旬》

- ・平均気温は、期間を通して平年を上回った。
- ・日照時間は、上旬は平年をやや上回ったが中旬は平年を大幅に下回った。
- ・降水量は、上旬は平年を大幅に下回り、中旬は大幅に上回った。

【10月上旬の気象（十和田アメダス）】

項目	平均気温°C		最高気温°C		最低気温°C		日照時間h		降水量 mm	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
上旬	17.5	14.5	22.6	19.9	13.0	9.4	48.3	44.2	27.5	45.4
中旬	13.1	12.4	17.4	18.4	8.9	6.6	25.8	55.5	47.0	29.1

注) 気温は10日間の平均、日照時間と降水量は10日間の合計

東北地方 1か月予報(10月25日から11月24日までの天候見通し)

令和7年10月23日 仙台管区気象台発表

- 東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。平均気温は、高い確率60%です。
- 降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。

水 稲

《作況・作業進捗状況》

- 1 東北農政局が10月10日に公表した9月25日現在の水稻の予想収穫量は、青森県全体で600kg/10a、作況単収指数*が102、「南部・下北地帯」は591kg/10a、作況単収指数*が107となっている。

* 作況単収指数：生産者が使用しているふるい目幅ベースで算出した10a当たり収量の前年産までの5か年中、最高、最低を除く3年平均に対する10a当たり収量の比率

- 2 管内の刈取最盛期(50%進ちょく)は平年より11日早い9月24日で、刈取終わり(95%進捗)は、平年より10日早い10月6日であった。

《今後1か月間の主な作業》

稻わらは、家畜の飼料や堆肥等に有効活用する。なお、秋にすき込む場合は、地温が低くなると腐熟が遅れるのでできるだけ早めに行う。

大 豆

《生育状況》

- 1 生育観測ほの成熟期は、平年より2日遅い10月14日であった。

《今後1か月間の主な作業》

- 1 収穫が遅れるとしづ粒や紫斑病などの被害粒が増加し、収量や品質が低下するため、適期に収穫する。

※ コンバインによる収穫適期は、成熟期から数日間立毛状態のまま乾燥させ、茎水分50%以下、子実水分20%以下になった時期。

- 2 収穫作業は、朝露が乾いてから行う。

- 3 汚損粒発生を防止するため、以下の点に留意する。

ア 雑草や青立ち株は、茎汁による汚損の原因となるので、収穫前に必ず抜き取る。

イ コンバイン収穫では、土のかみ込みを避けるため、無理に地際部まで刈り取らない。

小麦

《生育状況》

- 1 生育観測ほのは種は、平年（9月29日）より7日遅い10月6日であった。
- 2 一般ほ場は、9月下旬からは種が始まり出芽は良好である。

《今後1か月間の主な作業》

- 1 地表面排水を促進するため明きよを設置する。
- 2 耐倒伏性の向上や凍霜害を防ぐため、生育の旺盛なほ場は11月中旬までにローラー等で麦踏みを行う。ただし、粘土質土壤や転作田などの排水の悪いほ場は、生育が阻害されるので行わない。
- 3 雪腐病の薬剤散布は、11月中旬から下旬を目安に行う。なお、散布後に一度積もった雪が溶けても再散布の必要はない。

ながいも

《生育状況》

- 1 生育観測ほの10月10日現在の新しいもの生育は、全長及び全重は平年を大幅に上回っている。いも径はやや上回っている。
- 2 葉渋病の発生が広く見られるほか、ナガイモコガの食害が目立つほ場が見られる。

【生育観測ほの生育状況(種いも：2年子芽付き)】

調査地	年次	植付日 (月/日)	新しいも		
			全長 (cm)	全重 (g)	いも径 (mm)
東北町滝沢平	本年	5/14	92.0	1,960	62.8
	平年	5/ 8	76.5	1,145	58.2
	前年	5/11	94.1	1,337	58.4

注) 平年値は平成27年～令和6年までの平均値

《今後1か月間の主な作業》

- 1 茎葉が完全に黄変し、試し掘りでアクが発生しないことを確認してから収穫する。
- 2 雨天など過湿なほ場条件での収穫作業は、貯蔵中の腐敗を招くので行わない。
- 3 ながいもネットは野焼きせず、JA等による回収処理又は直接産業廃棄物処理業者へ搬入する等適正に処理する。

にんにく

《生育状況》

- 1 管内の植付け作業は9月下旬から始まり、植付け盛期は10月12日前後、10月下旬でほぼ終了した。
- 2 萌芽揃いは植付けの概ね3週間前後となるが、植付けが早いほ場では、本葉3～4枚程度に達している。

《今後1か月間の主な作業》

- 1 萌芽が揃ったら、芽出し作業を行う。
- 2 降雨時の排水対策として明きよの設置を行う。
- 3 種子生産ほ場では、感染源となる発病株の抜き取りを徹底する。
- 4 本葉3～4枚程度に達したほ場ではウィルスの秋期感染を防止する。黄変したないも茎葉等からのアブラムシ類の飛翔盛期に当たる10月下旬から11月上旬を目安に殺虫剤を散布する。

露地ねぎ

《生育状況》

- 1 生育は、例年並の茎の太さを確保しており、概ね順調である。
- 2 病害虫は、斑点性病斑及び萎凋病が発生している。

《今後1か月間の主な作業》

- 1 葉鞘の軟白状況（軟白30cm以上）を確認し、適期収穫をする。

秋だいこん

《生育状況》

- 1 は種期が平年より5日遅れであったが、生育が進み収穫期は5日早い10月6日となった。
- 2 収穫時の生育は、地上部（葉長、生葉数）は平年を上回り、地下部は、根長、根重は平年を大幅に上回り、根茎はやや上回り、収量は9,057kg/10aと平年を大幅に上回った。

【生育観測ほの10月6日 収穫調査結果（品種：勇）】

調査地	年次	は種期 (月/日)	収穫期 (月/日)	葉長 (cm)	生葉数 (枚)	根長 (cm)	根重 (g)	根径 (cm)
東北町栗山添	本年	8/11	10/ 6	47.4	26.1	42.9	1,396	7.6
	平年	8/ 6	10/11	45.5	22.1	34.3	1,045	7.1
	前年	8/ 8	10/ 7	45.2	20.4	38.9	1,159	6.9

調査地	年次	収量 (kg/10a)	品質・規格別割合(%)					
			A品	B品	2L	L	M	S
東北町栗山添	本年	9,057	28.5	71.5	88.5	9.3	0.0	2.2
	平年	7,979	62.0	34.0	25.0	38.0	26.0	6.0
	前年	8,527	0.0	100.0	46.4	39.5	11.5	2.6

注) 平年値は平成27年～令和6年の平均値

注) 令和4年に担当農家を変更したため、平年は参考値

《今後1か月間の主な作業》

- 1 収穫適期は品種や作型によって異なるが、秋だいこんは、は種後55～60日位を目安に収穫する。
- 2 ほ場ごとに試し掘りを行い、1本当たり重量が1～1.2kgを目安に収穫する。

りんご

《生育状況》

- 1 生育観測ほの「ふじ」の10月21日現在における果実肥大（横径）は8.3cmで平年比、前年比ともに97%となっている。
- 2 黒石市（りんご研究所）の10月21日現在における果実肥大（横径）は8.5cmで、平年比、前年比ともに97%となっている。

【生育観測ほの生育状況（品種：ふじ）】

調査地	10月21日現在の果実肥大（横径）				
	本年(cm)	平年(cm)	平年比(%)	前年(cm)	前年比(%)
十和田市米田	8.3	8.6	97	8.6	97

注) 平年値は平成28年～令和6年の9か年平均値

《今後1か月間の主な作業》

1 晩生種の収穫

ア 10月7日現在の黒石市（りんご研究所）のふじの熟度は、有袋、無袋ともに平年並みとなっており、収穫始めは、ふじの有袋が10月30日頃から、無袋が11月4日頃からと見込まれる。自園の果実の状況を確認し、早もぎせず、味をのせてから収穫する。

また、つる割れは、気象経過から多発する可能性は低いと予想されるが、肥大が平年を上回っている園地は注意する必要がある。加えて収穫が遅すぎると貯蔵中の内部褐変が心配されるので、11月15日頃までに収穫を終えるようする。

イ ふじ以外の晩生種も適期収穫に努める。

2 風害防止対策

強風に備え、防風網の点検・補修など風害防止対策をしっかりと行う。

牧草

《生育状況》

- 1 生育観測ほ（オーチャードグラス）は、平年より1日早い9月12日に3番草を収穫し、10a当たり乾物収量は平年比121%の224kgとなった。1番草から3番草までの合計乾物収量は、平年比88.6%の694kgであった。

【生育観測ほの生育状況（オーチャードグラス）】

調査地	年次	1番草		2番草		3番草		合計
		刈取日 (月/日)	乾物収量 (kg/10a)	刈取日 (月/日)	乾物収量 (kg/10a)	刈取日 (月/日)	乾物収量 (kg/10a)	
十和田市 米田	本年	5/23	291	7/18	179	9/12	224	694
	平年	5/22	381	7/16	217	9/13	185	783
	前年	5/17	378	7/16	245	9/11	154	777

注) 平年値は平成27年～令和6年の10か年平均値

《今後1か月間の主な作業》

堆肥や土壌改良資材を散布して土づくりに努める。

飼料用とうもろこし

《作柄状況》

生育観測ほの乾物収量は平年比 153% の 2,409kg/10a、TDN 収量は平年比 156% の 1,733kg/10a であった。

【生育観測ほの作柄状況（品種：スノーデント 110 日）】

調査地	年次	刈取月日 (月/日)	熟期 熟期	生草収量 (kg/10a)	乾物収量 (kg/10a)	TDN 収量 (kg/10a)
東北町北栄	本年	9/10	黄熟期	6,610	2,409	1,733
	平年	9/21	—	4,989	1,571	1,111
	前年	9/10	糊熟後期	7,080	1,918	1,311

注) 平年値は、平成 30 年～令和 6 年の平均値